

要望項目	過疎地から県立高校への通学負担軽減について(新規)		
要望先	国		
	県	教育庁(教職員課)	
	その他		
関係法令		事業主体	青森県

要 望 事 項 の 内 容
<p>青森県立青森北高校今別校舎の募集停止前から、今別町の中学卒業生の過半数は町外の高校へ進学している状況です。令和4年には同校が閉校になり、当町の中学卒業生全員が町外の高校への進学を余儀なくされております。</p> <p>一番近い県立高校である青森北高等学校(以下、「青森北高校」)でも町からは48kmも離れており、JR津軽線を利用しての通学は片道1時間以上を要し通学定期代も年間10万円を超えます。新幹線での通学では片道30分程度に短縮されるものの定期代が月間6万円を超える状況であり、いずれの場合も保護者の経済的負担は大きく、高校進学や住宅新築のタイミングで家族まるごと近隣市へ転居する事例が相次いでおります。</p> <p>一方で、独立行政法人労働政策研究・研修機構が平成28年に発表した「U I J ターンの促進・支援と地方の活性化ー若年期の地域移動に関する調査結果ー」では、『高校卒業まで地元で暮らすと愛郷心が強くなりUターン希望が強くなる。』と指摘されており、当町でも高校卒業まで当町に住み続け、当町から通える環境づくりに取り組んでおります。</p> <p>具体的には、子育て世帯の負担軽減と人口流出の抑制を目的に、町独自に通学定期の半額助成に取り組んでおり、ほぼ全高校生が活用しております。厳しい財政状況の中で子育て世代の流出を食い止めるために町独自の施策として助成していますが、町単独予算では財政的負担も大きく施策にも限界があります。</p> <p>このまま高校再編の煽りを受け若年層の人口流出に歯止めがかかかなければ、当町のみならず過疎町村部の消滅という最悪のシナリオは、より近い将来に現実のものとなります。</p> <p>鳥取県では令和2年から、県が主導し高校生への通学費助成事業を実施し、各生徒の負担を月7,000円まで軽減しております。</p> <p>県立高校の統廃合により通学に時間が掛かる場所が増加している中で、本県でも鳥取県と同様に、県から通学弱者とも言える過疎地の高校生とその家族への助成を検討していただくよう強く要望します。</p> <p>1. 過疎地の高校生への通学助成制度について</p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
<p>現在までの経緯</p> <p>平成28年度から町独自の通学定期3割助成を開始。 令和2年度から町独自の通学定期が半額助成に。 令和3年度末で青森県立青森北高等学校今別校舎と青森県立中里高校が閉校。</p> <p>参考事項</p> <p>令和4年3月9日水曜日の東奥日報津軽総合「中里高校最後の1年第4部冬上」 令和4年3月10日木曜日の東奥日報津軽総合「中里高校最後の1年第4部冬下」</p>	
担当部署名	今別町 総務企画課

津軽総合

本社報道部 ☎017(739)1173
FAX(739)1141

弘前支社 ☎0172⑤5151
FAX⑤8035

五所川原支局 ☎0173③3543
FAX③0835

黒石支局 ☎0172②2351
FAX②8162

つがる支局 ☎0173②3130
FAX②5080

鯉ヶ沢支局 ☎0173②2058
FAX②6647

▽各支社局に情報をお寄せください

すくすく写真館



黒石市中川 北山大地さんの
長女 想来ちゃん(2つ)☺
次女 穂ちゃん(6カ月)

投稿規定 対象は未就学児で両親のいずれかが県内在住か県出身者①保護者の住所、氏名②子どもの続柄、名前(振り仮名)、年齢③投稿者の住所、氏名、電話番号を明記し東興日報社「すくすく写真館」係へ。メールはbunka@toonippo.co.jp。

ギャラリー Gallery

◆藤城清治版画展 14日まで、弘前市のさくら野百貨店弘前店3階催事場で一写真。
展覧の第一人者として東京都を拠点



新人社員決意新た

雇用対策協「励ます会」市内から40人参加

青森雇用対策協議会(奈良秀則会長)は8日、青森市の青森商工会議所で「市内就職者を励ます会」を開いた。春から市内の企業に勤める若者が出席し、社会人生活のスタートに向け決意を新たにしていた。

励ます会は、市内の事業所などをつくる同協議会が毎年開催している。今年も新人社員や中途採用で就職する人など、10社から計40人が参加。あいさつした奈良会長は「青森市で皆さんの夢を、自己実現を果たしてほしい」と誓いの言葉を述べた。

この後会場では、基礎的なビジネスセミナーなどを学ぶ新人社員セミナーが開かれた。

(藤本耕一郎)



桑田村長(後列左)に受賞を報告した三土会長(前列中央)や矢澤さん(後列右)、小中学生のメンバー

西目屋村のメンバーが、桑田村長を訪ねた。同賞は、10年以上計画しているなどの要請が対象。会員数は約40人、小中学生は2026年にスポーツ大会

「通学に苦労していた」と話す。学校までは1時間。所属していた陸上部の練習はバスの運行ダイヤに合わせる形で、毎日1時間程度しか確保できなかった。大会前はもっと走り込みたいという思いもあ

中里高校 最後の1年

第4部 冬

上 遠い進学先



通学のため路線バスに乗り込む中里高生
＝2月28日午前7時、中泊町小泊地区

「中里高がなくなるなんて進路どうしよう」。中里高の閉校決定後、三和さんの元には2歳年下の後輩に当たる中学生2人から進路を思い悩むメールが届いた。三和さんは「自分は最後の中里高生として間に合ったが、町内の子どもたちは遠くの高校に行くざるを得ない。起床時間も早くなるし、本当にきついな」と。結局、後輩たちは五所川原市内の高校に通学しているという。

近年、同町の近隣市町で高校が相次いで姿を消している。17年度には金木高市浦分校が閉校。本年度は中里、青森北高今別校舎、さらに来年度は金木、鶴田、板柳、五所川原工業、木造高深浦校舎の5校も歴史に幕を下ろす。通学の負担軽減に明確な解決策が示されないまま、23年度、津軽半島北部から高校がなくなる。

(尾坂拓哉)

「陸の孤島」大移動必須

「陸の孤島」大移動必須。住民は「学校に通うのも大移動だ。陸の孤島になっている」と嘆く。

9個

◆今別町定例21年度一般ご15議案を原案し、散会した。◆蓮田村定例2022年度一般ご13議案を原案を一括上程案と報告2件を承認した。◆22年度一般ご前年度当初比54万円。去田中学校通り新購入費151万第6分団中所得2万円など。◆21年度一般ご8222万円を

蓮

蓮田村とは、地域社会ポツ大会功績があった表彰と村教養9個人を登壇は新型コロナウイルス

西

西目屋村は「白神」1998年、県の「ラブ」の表彰のほご三上オリンピックには同クラブ、澤一輝さん(白神メン

要望項目	国道 280 号（蓬田～蟹田）バイパス整備促進について（継続）		
要望先	国	国土交通省（道路局）	
	県	県土整備部（道路課）	
	その他		
関係法令	道路法	事業主体	青森県

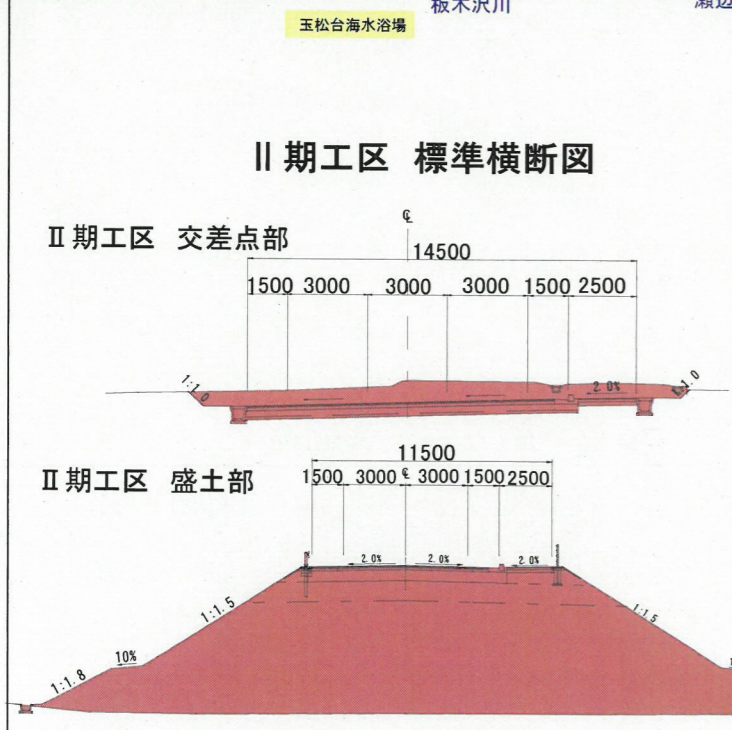
要 望 事 項 の 内 容
<p>一般国道 280 号は、青森市から陸奥湾沿いに北上し、津軽半島最北端の外ヶ浜町三厩地区に至る半島循環道路で地域住民の生命線となっていますが、冬期間は、降雪による交通渋滞が慢性化するなど、日常生活に支障をきたしております。</p> <p>また、東青地区の観光や、産業経済の振興並びに文化の向上にとって最も重要な路線あり、その機能強化のために整備促進は緊急の課題となっております。</p> <p>現在、蟹田Ⅱ期工区残工事区間 L=0.78 km については、用地取得、埋蔵文化調査が進められておりますが、早期完成を望む声は地元住民の切実なものであります。</p> <p>青森市と津軽半島地域の連絡機能の向上及び交流の促進を図るため、次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <p>1. 国道 280 号（蓬田～蟹田）バイパスの建設及び整備促進</p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
油川 ～ 内真部 L=8.37 km 平成 5 年開通	
内真部 ～ 蓬田 L=10.20 km 平成 14 年開通	
蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅠ期工区 L=5.12 km 平成 22 年開通	
蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅡ期工区 1 工区 L=0.90 km 平成 29 年開通	
蓬田 ～ 蟹田 バイパスⅡ期工区 2 工区 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度 道路概略設計 ・平成 27 年度 事業説明会、地形測量、道路予備設計 ・平成 28 年度 路線測量、道路詳細設計 ・平成 29 年度 事業説明会、用地測量、用地買収 ・平成 30 年度 用地買収 ・令和元年度 用地買収、遺跡調査 ・令和 3 年度 道路新設着手 	
担当部署名	外ヶ浜町 建設課

国道280号(蓬田～蟹田)バイパス整備状況



(工事起点) 蓬田村大字瀬辺地 国道280号 蓬田～蟹田バイパス L=6.80km (工事終点) 外ヶ浜町 字蟹田中師宮本



- ### 事業概要
- 事業名: 国道280号蓬田～蟹田バイパス
 - 事業区間: 東津軽郡蓬田村大字瀬辺地から外ヶ浜町字中師宮本まで
 - 事業延長: L=6,800m
 - 幅員: [I期工区]車道部:W=9.5m [II期工区]車道部:W=9.0m、歩道部:W=2.5m(一部両側)
 - 縦断勾配: 4.0%以下
 - 曲線半径: Rmin=1,500m
 - 現況交通量: 5,400台/日

現道の状況

歩道未設置区間

冬期の通学路

冬期はすれ違いが困難

災害時リダンダンシー確保必要

開通済み工区の利用状況

油川～内真部間
L=8.37km (S53～H5)

内真部～蓬田間
L=10.20km (H6～H14)

蓬田～蟹田BP I期
L=5.12km (H15～H22)

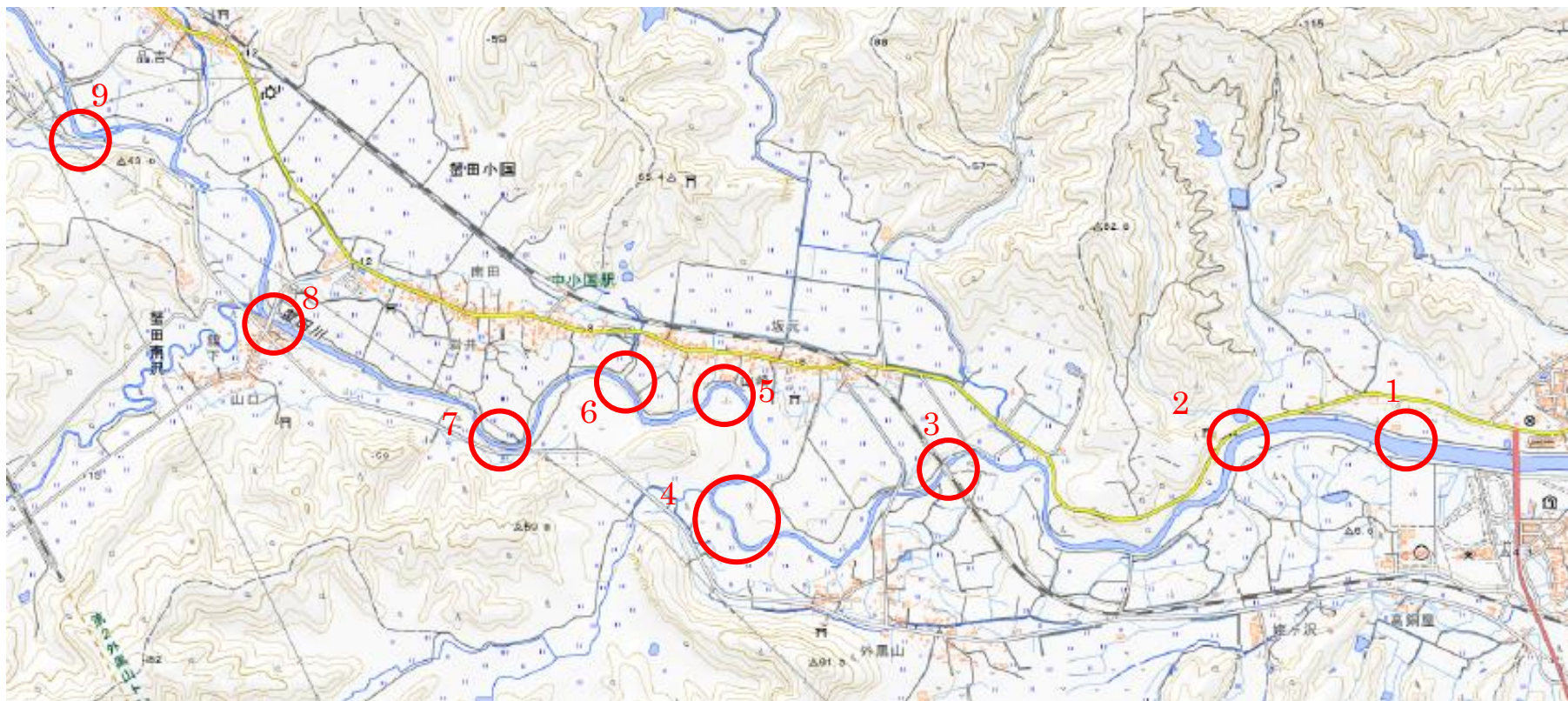
要望項目	蟹田川の河川整備について（継続）		
要望先	国		
	県	県土整備部（河川砂防課）	
	その他		
関係法令	河川法	事業主体	青森県

要 望 事 項 の 内 容
<p>蟹田川においては、過去南沢地区で大雨時に床下浸水する等、水災害のリスクの高い河川となっております。令和元年度より、総合流域防災事業として、伐木除根工、掘削工を実施して頂いておりますが、他箇所についても引き続き、断面確保等による適正な維持管理をして頂くよう要望いたします。</p> <p>1. 蟹田川の伐木除根及び河床の掘削</p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
平成 28 年度 要望箇所③ 掘削工	
平成 29 年度 要望箇所⑥ 掘削工	
平成 30 年度 要望箇所⑧ 掘削工・伐木除根工	
令和 元年度 要望箇所⑧ 掘削工・伐木除根工	
令和 2 年度 要望箇所⑨ 掘削工	
令和 3 年度 要望箇所① 伐採除根工	
令和 4 年度 要望箇所④ 掘削工	
担当部署名	外ヶ浜町 建設課

蟹田川の維持管理については以前より定期的に施工していただき、河川の安全は確保されてきました。

しかし数年で再び土砂の堆積が見られ、掘削が必要な状況となっております。よって、下記要望箇所の継続的な維持管理を必要とします。



蟹田川の河川整備について

要望項目	主要地方道今別蟹田線（県道 14 号）小国峠の道路整備について（新規） （今別町と外ヶ浜町の共同要望）		
要望先	国		
	県	県土整備部（道路課）	
	その他		
関係法令	道路法	事業主体	青森県

要 望 事 項 の 内 容
<p>主要地方道今別蟹田線は、今別町及び外ヶ浜町三厩地区から青森市、五所川原市へ通じる唯一の道路として町民の命を繋ぐ重要な路線になっています。</p> <p>しかし、当該路線は、急勾配の上にカーブが多く、特に冬季積雪期間は、一部区間で散水消雪施設を整備しているものの、その他の区間で路面凍結や積雪による車両事故が多発しており、地域住民は不安を感じているところです。</p> <p>北海道新幹線奥津軽いまべつ駅の開業後は、物流・人流・観光・防災を支える最重要路線としての役割が更に増していることから、住民の命を守る、事故のない安全な道路として、平坦化に向けた整備について要望いたします。</p> <p>1. 主要地方道今別蟹田線（県道 14 号）の平坦化に向けた道路整備について 2. 主要地方道今別蟹田線を重要物流道路として指定すること。</p>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項
<p>令和 4 年 1 月 29 日、今別町長と外ヶ浜町長の連名で青森県県土整備部長へ要望書を提出している。</p> <p>令和 4 年 5 月 31 日、道路課及び関係町村等と連携をとりながら勉強会を開催し、今後の平坦化整備に向けた課題や整備手法、現道の整備後の取扱等について意見交換（事業の検討）を継続していくことを確認した。</p>

担当部署名	外ヶ浜町 建設課
-------	----------

主要地方道今別蟹田線（県道14号）小国峠区間 位置図

